

科 目 名(Subject)	産業集積特論 (Industrial Agglomeration)		
単 位 数(Credits)	2 単位	開講時期	後期
担当教員名 (Name)	林 松国 (LIN SONGGUO)	研究室番号 (Office)	426
Office Hours	随時（事前にメールで連絡のこと）		

1. 授業目的・方法(Course objective and method)

目的：産業集積とは特定地域に関連性のある多数の企業が集積することであり、産業集積論の系譜の原典である Marshall（1920）ではその経済性について、企業間における社会的分業が形成されるがゆえに相互依存や競争の関係が強まり、そのもとで産業集積全体として外部変化への対応能力が存在すると指摘されている。他方、近年ではソフトウェア産業集積といったハイテク型の新しい産業集積について、集積内立地企業間の競争と協調を通じたイノベーションの創出効果に関心が集まっている。

本授業では、このような新しい産業集積を対象に、「既存の産業集積」の経済性と比較しながら、実践コミュニティの概念を導入し、集積形成のプロセスを詳細に考察することで、ハイテク型産業集積の経済性とイノベーション創出の拠点となった本質を理論的、実証的に考察する。

方法：テキストの事前精読、レジュメ・コメント作成、ディスカッションによる問題・論点の理解の深化、検討の整理および思考の定着化。

2. 達成目標（Course Goals）

産業集積の諸理論についての理解を深め、そのうえで、ハイテク型産業集積の経済性とイノベーション創出機能について分析できるようになる。

3. 授業内容(Course contents) と事前学修・事後学修（Preparation and review）

1 産業集積とは何か？

予習課題と復習課題は授業中に指示する。

2 産業集積の経済性

予習課題と復習課題は授業中に指示する。

3 シリコンバレー①

予習課題：指定教材の該当箇所の精読

4 シリコンバレー②

予習課題：指定教材の該当箇所の精読

5 シリコンバレー③

予習課題：指定教材の該当箇所の精読

6 シリコンバレー④

予習課題：指定教材の該当箇所の精読

7 シリコンバレー⑤

予習課題：指定教材の該当箇所の精読

8 新しい産業集積とスピノフ・ベンチャー

予習課題：指定教材の該当箇所の精読

9 スピノフ企業家の学習コミュニティ

予習課題：指定教材の該当箇所の精読

10 浜松地域のソフトウェア集積とスピノフ連鎖の実態

予習課題：指定教材の該当箇所の精読

11 札幌地域のソフトウェア集積とスピノフ連鎖の実態①

予習課題：指定教材の該当箇所の精読

12 札幌地域のソフトウェア集積とスピノフ連鎖の実態②

復習課題：学習内容の整理・定着化

復習課題：学習内容の整理・定着化

復習課題：学習内容の整理・定着化

復習課題：学習内容の整理・定着化

復習課題：学習内容の整理・定着化

復習課題：学習内容の整理・定着化

復習課題：学習内容の整理・定着化

復習課題：学習内容の整理・定着化

復習課題：学習内容の整理・定着化

復習課題：学習内容の整理・定着化

復習課題：学習内容の整理・定着化

復習課題：学習内容の整理・定着化

復習課題：学習内容の整理・定着化

復習課題：学習内容の整理・定着化

復習課題：学習内容の整理・定着化

予習課題：指定教材の該当箇所の精読	復習課題：学習内容の整理・定着化
13 浜松地域の光電子集積とスピノフ連鎖の実態	
予習課題：指定教材の該当箇所の精読	復習課題：学習内容の整理・定着化
14 中国北京中関村ソフトウェア集積とスピノフ連鎖の実態	
予習課題：指定教材の該当箇所の精読	復習課題：学習内容の整理・定着化
15 産業集積事例の比較分析	
予習課題：指定教材の該当箇所の精読	復習課題：学習内容の整理・定着化

4. 使用教材(Teaching materials)

テキスト：

①アナリー・サクセニアン（2009）『現代の二都物語』日経 BP 社

②長山宗広（2012）『日本のスピノフ・ベンチャー創出論：新しい産業集積と実践コミュニティを事例とする実証研究』同友館

参考文献：

①渡辺幸男（2011）『現代日本の産業集積研究：実態調査研究と論理的含意』慶応義塾大学出版会

②『中小企業白書』各年

プリント：

随時配布

5. 成績評価の方法(Grading)

評 価 の 要 素	ウェイト
出席率	10%
授業への参加度（事例，討論，調査）	50%
ホームワーク（事前課題の提出）	10%
小テストないしクイズ	0%
試験ないしプレゼンテーション（最終課題）	30%

6. 成績評価の基準 (Grading Criteria)

秀（100－90）：授業内容について特に優れた理解力を示し、重要論点に関して特に優れた分析・考察力を示す。

優（89－80）：授業内容について優れた理解力を示し、重要論点に関して優れた分析・考察力を示す。

良（79－70）：授業内容について適切な理解力を示し、重要論点に関して適切な分析・考察力を示す。

可（69－60）：授業内容について基本的な理解力を示し、重要論点に関して基本的な分析・考察力を示す。

不可（59－0）：授業内容について理解が不十分で、重要論点に関する分析・考察が不十分である。

7. 履修上の注意事項(Remarks)

当講義では、講義中の積極的な発言、議論を求める。

教科書を輪読する方法をとるが、受講者が作成する発表内容及びレジュメが単なる教科書の要約であると判断される場合、成績評価対象から除外する。与えられた課題内容を自分なりに読み解き、解釈、考察することで、発表のポイントを明確にする、あるいは課題から新しいテーマをフロアーに提起することを求める。